

2021年度第1回子どもセンター「ぱお」運営委員会 議事録

日時	: 2021年6月24日(木) 午後6時00分～8時00分
場所	: 子どもセンターぱお 2階 多目的室
司会	: さとう くるみ(子ども委員会副委員長)
出席者	: 委員14名、職員7名

1. 挨拶

児童青少年課長挨拶 早出 満明

日頃から子どもセンターぱおとぱお分館WAAA0の運営にご協力いただきありがとうございます。

現在、町田市でも新型コロナウイルスのワクチン接種を急ピッチで進めているところです。新型コロナウイルスの流行等の問題がある中で、運営において皆様から様々なご協力をいただくこともあるかと思いますが、何卒よろしく申し上げます。

2. 委嘱式

解嘱: おおかわ としあきさん さん(元相原小学校副校長)

委嘱: こうの よしひろさん さん(相原小学校副校長)

3. 2021年度の職員体制と担当事業について

榎本 洋子: 館長5年目。引き続きぱお分館WAAA0を兼務。地域の方からのご協力をいただいていることを強く感じている。ぱおが子育て支援の拠点になるよう頑張っていきたい。

矢代 裕子: 5年目。まちとも、いつでも工作、ガラスフェーシング、ぱおで何したい、のびっこあそび隊を担当。子どもの居場所作りを頑張りたい。

岡本 徹平: 2年目。ウルトラティーンズ、子ども委員会、けん玉ぱーく、切っても切れない切手集めを担当。ウルトラティーンズ、子ども委員会は子どもの運営組織として力を入れている。ウルトラティーンズではパラリンピックの採火を8月1日に実施予定。子ども委員会ではバスケットボールの遊び方に関するルールの見直しとアンケートを行っていく。7、8月に実施されるしゅわしゅわパーティは地域の学生さん達と協力して実施していきたい。

小林 章江: 2年目。乳幼児担当。ぱわぱふたいむ、ピーカーブーを担当。地域ボランティアの協力で行っているベビーマッサージ等に力を入れていきたい。親子の居場所作りを頑張りたい。

齊藤 亮: 4年目。一般事務。庶務全般。

白坂 久美子: WAAA0 2年目。今年目標は、子どもスタッフの活性化、「絵本の世界へようこそ」というコンセプトを活かした連携事業の実施。子どもから事業のリクエストがあった場合は、子どもと一緒に事業を作り上げていきたいと考えている。

4. 報告

①子どもセンター及び地域子育て相談センターの再編成について

ぱおは2階多目的室を子育て相談センターのスタッフルームと相談ブースとして使用する。7月初旬には多目的室に置かれている卓球台を2階シーズ(図書コーナー)へ移動する。9月から子育て相談センターと共催で乳幼児事業を開始していく。2021年度は平日開館として未就学児とその保護者を対象とした相談を受け付ける。2022年度からは開館日をぱおに合わせて火曜日休館とし、小学生以上の子どもについての相談も受け付けていく。

ほりえさん 中学生の親御さんにも子育て相談センターの紹介をしても大丈夫でしょうか？

榎本館長 大丈夫です。
にしぐちさん 幅広い年齢の子どもが相談できる場所ができるのはとてもうれしいことです。
あおきさん 子どもセンターの建物に相談センターが入るのは良いことだと思う。
ただあまり固く構えてしまうと相談しづらくなると思うので、気軽に相談できるような雰囲気作りをしていただきたい。

② 2020年度事業報告及び利用状況について

ぱおでは新型コロナウイルスの影響による臨時の休館日があり、2019年度と比較して来館者は減少した。しかし中高生の来館者は2019年度と比較して増加している。新型コロナウイルスの影響で皆ぱおへは来づらいと思われる。今後も館内を頻繁に消毒し、安全な居場所作りを心がけたい。ぱおでは2020年度中に47事業を実施した。大学が休校となっていることが多かったため、大学生と協力した事業はできなかった。ウルトラティーンズではおうち時間をどう過ごすかというテーマで2本の動画を作成し、YouTubeに上げた。

ぱお分館 WAAA0 は2019年度と比較して小学生の来館者が増加している。WAAA0 では2020年度中に19事業を実施。英語の絵本やマザーグース（わらべ歌）にふれて、親子で楽しむ事業を実施しました。

③ 夏まつり（8/1）について

実施するべきか検討したが、現在の状況を判断し中止とします。8月の諏訪大社祭、各町内会のお祭りも中止です。武蔵岡団地は住民のみとし、行います。

いのうえさん 相原ふれあいフェスティバルも中止になりました。

④ 夏事業について

7月は定例事業を実施していく。

夏休み期間中は、様々な夏事業を実施して子どもがいつでも楽しめるような事業や遊びの場所を提供したい。

5. その他

情報交換

こばやしさん 地域住民代表。堺おやじ会に所属。おやじ会では、いわき市へのコットン支援を行っている。今年も屋上で育てており、10～11月頃にコットンを収穫予定。

ちばさん 地域住民代表。相原小学校にて授業に使う農作物の栽培を行っている。新型コロナウイルスの流行により、子どもとの接触は控えている。7月1日に新型コロナウイルスワクチンの2回目の接種を行う予定なので、それ以降はより積極的に地域の子どもの支援を行いたい。

こうのさん 相原小学校副校長。密を避けながら小学校の活動を進めている。ちばさんが言っていた畑について、PCを使って実況中継しながら授業を行った。

さとうさん 子ども委員会代表。学校では、軽音部に所属している。先生が動画を上げて、それを見て生徒が練習をしている。今年は文化祭を行う予定なので軽音部の練習も頑張りたい。

ほりえさん 堺中学校副校長。オリンピック選手の講演会や、水泳選手による水泳の授業等を実施した。今年度は規模を縮小して運動会を実施した。一つのことを成し遂げようとすると、人と人のぶつかり合いが発生することがある。しかしそれが生徒の成長にも繋がっていると思う。動画を利用した授業や行事の実施も検討したい。

- たかざわさん 健全育成小山地区委員会会長。活動をしたくても現状ではなかなかできない。健全育成のメンバーのモチベーションも下がっている。健全育成小山地区の会議でもどうすべきかを模索している。
ぱおには、子どもの多い小山地区へもっと目を向けてもらいたい。
→榎本館長：ぱおとしても小山地区に協力していきたい。
- たにおかさん 地域住民代表。健全育成小山地区委員会にも所属している。また「さん」で仕事をしている。色々やっています。
新型コロナウイルスワクチンの接種が進んでいったら、イベントを色々やっていきたい。ぱおに相談センターが入るのは駐車場に車が停めやすいので、遠方の方は良いことだと思う。子どもクラブ「さん」は中高生の利用が少ない。スタジオが狭く、現在1人でのみ使用可としているためか、利用者が少ない状況。
- あおきさん 健全育成相原地区委員会会長。5月21日に2回目のワクチンを受けたので、活動をどんどん実施できます。健全育成の方も新型コロナウイルスの関係で人が集めづらかった。しかし工夫をしながらイベントをやっていくしかない。お祭りみたいな大規模なイベントは難しいが、色々な活動を実施していきたい。
- いのうえさん 相原地区連合町内会会長。新型コロナウイルスによる活動自粛がコミュニティの崩壊に繋がるのではないかと危惧している。相原ふれあいフェスティバルについて、台風と新型コロナウイルスにより3年連続中止。流しそうめん大会をやると思ったが新型コロナウイルスの流行により中止となってしまった。ぱおの夏事業は素晴らしいと思う。
- すぎさきさん 地域住民代表。ぱおのお祭りが中止なのは寂しい。子育て相談センターが移転してくることで、ぱおがより相談し易い場所になるのは嬉しいと思う。
- しぶやさん 地域住民代表。ゆくのきまちともでは、「ぱおはいつ来るの？」と子どもによく聞かれる。お祭りが中止になると、自分がお祭り好きだったことがわかる。ぱおの事業スケジュールを見るととても細やかで本当に感謝している。ぱおが、今後も子どもが安心して遊べる場所であり続けられるよう協力したい。
- なかじまさん 相原地区青少年委員。ちばさんやこの副校長が言っていた相原小学校の畑の授業だが、畑からそら豆やベビーコーンの発育の中継もした。
相原小まちともでも「今日ぱおは来るの？」と子どもによく言われる。
子どもマラソンがここ3年間実施できていない。次回実施することを考えると、不安を覚える。皆で協力して乗り越えていきたい。
- おかもとさん 小山地区青少年委員。小山小まちともは平均30人ぐらいの子どもが遊びに来てくれている。健全育成小山地区委員会の下にリーダーズというグループがあり、ぱおのウルトラティーンズと交流している。リーダーズは決まった拠点が無いため、現在活動の難しさを感じている。
- にしぐちさん 主任児童委員。閉じこもっているだけで中々活動ができない。新型コロナウイルスの流行が終わった後にスムーズに活動を再開できるか不安に思っている。
ぱおの皆様、様々な事業実施お疲れ様です。